

題名	人権課題	分類1	分類2	番号	上映時間	規格	種類	制作年	内容(あらすじ)	対象	備考
ハンセン病 剥奪された人権	HIV・エイズ等の問題	8		1	25分	VHS	ドキュメント	2002	現在も国立のハンセン病療養所に暮らす人びと、院長及び関係者の証言を取材し、ハンセン病患者隔離の不幸な歴史と現在の状況を描き、現代に生きる私たちが、今、考えなければならない人権意識を問う。		
未来への虹 —僕のおじさんは、ハンセン病—	HIV・エイズ等の問題	8		2	30分	VHS	アニメ	2005	ハンセン病元患者の平沢保治さんをモデルにして書かれた子ども向けの本をもとに、小学校高学年以上の方に見てもらおうことを目的として作られたものです。	高学 小学 年以上	企画：法務省人権擁護局
エイズとともに生きるために LIVING WITH AIDS	HIV・エイズ等の問題	8		3	27分	VHS		1993	エイズとともに生きる社会のあり方を解説。正しい知識の備えと差別や偏見のない社会づくりを願って。(エイズ予防財団 1993)		監修： (財)エイズ予防財団
風よ 雲よ 伝えてよ HIV/AIDSと共に生きる	HIV・エイズ等の問題	8		4	38分	VHS		2002	AIDSの正しい知識、その普及や啓発を通して根深い差別と闘い、感染者と共に歩むHNと人権・情報センターと若者たち。AIDSを発症したことで職場を追われながらも、「今が充実している」と語る感染者“のじゃん”同性愛者であること、感染者であることを公表し、当事者の立場から問題提起する大石敏寛さん。ビデオはそんな人たちの思いや活動を紹介し、HN/AIDSと共に生きる社会について考えていきます。		発行： 神奈川県人権センター
人権アーカイブ・シリーズ ①ハンセン病問題 ②家族で考えるハンセン病	HIV・エイズ等の問題	8		5	①56分 ②20分	DVD		2015	ハンセン病と人権についての貴重な教訓を後世に伝えるため、関係者の証言と当時の映像によるドキュメンタリー①「ハンセン病問題～過去からの証言 未来への提言～」と、②ハンセン病問題についてドラマで学ぶ「家族で考えるハンセン病」から構成されています。		発行：公益財団法人人権教育啓発推進センター 在庫2本あり
教師と児童生徒が共に学ぶ 人権教育教材 ～ハンセン病問題を学びエイズや いじめについて考え、共に生きていく ために～	HIV・エイズ等の問題	8		6	76分	DVD		2015	この教材は、沖縄県の狭量区を得て、NPO法人HIV人権ネットワーク沖縄が「小・中・高校」の教育チームを組織し作成したものです。この教材を手にする先生方が、それぞれの学校で活用され、子どもたちの素晴らしい未来への力になれば幸いです。		制作： HIV人権ネットワーク沖縄
エイズの知識と対策	エイズ問題	8		315	25分	VHS		H4	エイズについて次の点から解説しています ・エイズの歴史 ・症状 ・感染について ・予防と対策 等	一般	
エイズを科学する	エイズ問題	8		513	30分	VHS		H6	エイズに感染してしまった患者の記録を中心に、エイズウイルスを各方面から鋭く切り込み世界の科学者が予防や治療研究に取り組む現状を伝えます。	中高 一般	
風の舞	ハンセン病	8		1610	59分	VHS		H17	香川県高松市にある大島青松園に隔離された詩人の塔和子さんの詩をモチーフに、真摯に今を生きている多くの回復者の皆さんの姿を重ね、ハンセン病強制隔離のなかで生きてきた人々の思いを伝えます。	小中 高 一般	
ハンセン病問題 ～過去からの証言、未来への提言～ 家族で考えるハンセン病	HIV・エイズ等の問題	8			76分	DVD			ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。また、広く一般市民を対象とした啓発現場においても使用できる有効なツールとなる映像も併せて制作し、次世代へ伝承しようとするものです。		